

# 琉球大学学術リポジトリ

土と植物と動物 — 植物と動物の必須元素のはなし  
— (3)

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農家政学部 公開日: 2011-05-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 鎮西, 忠茂 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/19869">http://hdl.handle.net/20.500.12000/19869</a>

はタネを傷ける欠点がある又過度の乾燥もタネの活力を失うことになるので注意を要する。リウキウマツやモクマオウなどはねをつけた タネは袋に入れてよくもみつぶしてタネとはねを分離し、箕や風選器などの風選によつて良質のタネを分離精選して貯蔵するようにする。湿度の高い琉球でははねをつけたまゝにするとはねが吸湿してタネの含水率を高め活力を減ずることになる。

樹種によつて差があるようだが、一般にマメ科の樹種のタネは、葉果のまゝで乾燥すると、種皮がペクチン物質の作用でコロイド性を失つて極めて発芽期間が長く従つて実用的には不発芽粒となるインダネになるが、完熟した葉果を採集して直ちに葉からタネを取り出して室内乾燥すればインダネになる粒数が極めて少なくなることが知られている。

イヌマキは速かに果托を除いた後一応室内に広げてタネの表面に附着した水分を乾燥させながら雑物や欠点のあるタネを除いてよいタネを分離精選する。

フクギ、テリハボク、センダンなどの果肉の厚い果実は欠点のあるのを取り除いた後、果実を臼などに入れて軽くつくか、堆積して踏みつけるなどして、果肉に傷をつけて、果肉が乾燥又は吸水し易い状態にした後、コンクリート叩きの上に薄く広げて果肉の水分を完全に乾燥除去するか又は果実を水に浸けて腐敗させ、水で完全に洗い流した後種実を広げて表面の附着水分を完全に除いて貯蔵に廻す。

イヌマキ、フクギ、テリハボクなどの大粒のタネは、完熟時のタネの含水率が割合に高く（二五—四〇%位）且つタネの活力の維持は大体完熟時の含水率を維持することが理想で、それよりも乾燥すると乾燥度の割に急激に活力が減じてゆき割に高い含水率で活力を全く失つて終らることになる故、タネの完熟時の含水率の高い大粒の樹種の果実の処理に當つては、果肉の完全な除去又は果肉の完全乾燥とタネ表面の附着水を乾燥する程度にとどめ、乾燥し過ぎないように注意する、

(つづく) (大山保表)

## 土と植物と動物

(三)

—植物と動物の必須元素のはなし—

### (四) 塩素

植物、動物の何れにも必須と考えられている。

植物においてはある酵素の活性を刺激し、炭水化物代謝、葉緑素生成に関係し又植物組織の水分保持力に関係があると云われている。

動物においては適当な浸透圧関係、適当な酸塩基の平衡を保持する。又塩酸の一分成分として胃内消化に重要な役割を持つている事はあまりにも知られたつてゐる事である。又ナトリウムと共に血液の一分成分である事はいうまでもない事であろう

(つづく)

## 読者だより

当学部では去る六月二十七日、水納島（本部町）の慰問映画会を催し、島の人々から大変よろこばれました。該地からよせられたたよりの一つを御紹介します。

謹啓 日増しに暑くなる節、先生方には、益々御健勝の由お慶び申し上げます。お蔭をもちまして私達も頑張っております。何卒御安心下さい。開日はわざわざ海路誠に有難うございました。開びやく以来辺地においての映画会故、私共には誠に有意義深い事でございます。今後、諸先生方の御期待にそうよう、意を新たにして辺地教育を守り抜く決意でございます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

(水納校 島袋 盛慎)

発行所 琉球大学農家政学部

発行人 島袋 俊一

印刷 沖繩タイムス社

指令第一九八〇号

一九五八年六月二十五日印刷

一九五八年七月一日発行